

1960

史のねの秋をさかえたい

歴史の中の世臣の存在は

重要な役割 だういふうい

ことと行の正史の記述は

実象と情報と流すことであらう

信長は予ず 斎藤道三の娘と結婚

身の安全を守り、

次に敵対する朝倉に嫁をよすがにやうか

敵争にふって朝倉を倒す

三人の娘はうけとるが 男子は信長の血をい

かあるらと朝倉にふって殺さぬまいる

秀吉と輝臣が戦うとつかせる

女性は同盟と ぶすぶ役割に守られてい

としか思えろの

戦国時代の 次々戦あり 同盟とあつた

女性もつかわれていまうは

ひとりの道具として使われてい

道具だういふかたかりある木

そのにあり歴史の裏に

学校の歴史の時間 今ときいて

よかつた

昔い時 こん原 耳尖を知つてラ

なやみと 赤^せぶつてしるう

現在の金環の甲で 仮^か換せりか、 という

ことは山原とある

知らずい どの 示がよいと思つてい

少くとも 親子で 殺し あり こと けずい

ニエース に よると とうでもなる

あふすい く こん原とわすれ

虫の音のする

秋

秋をむかふたい

2023
9/10